

# **都立高校生就職企業調査**

**平成23年9月**

**東京都教育委員会**

# 目 次

第1章 調査の目的及び調査内容.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査方法.....	1
3 調査実施状況.....	1
4 本調査の見方.....	1
第2章 調査結果の分析.....	2
1 学科別の採用職種について.....	2
2 在職の有無及び退職の時期・理由について.....	3
3 就職に関する教員の関わり方について.....	5
4 今後の高校卒業生の採用予定について.....	6
5 高校卒業就職希望者の採用にあたり重視することについて.....	7
6 回答企業の属性.....	8

# 第1章 調査の目的及び調査内容

## 1 調査の目的

都立高校卒業生の就職後の状況や就職先企業の意識等を把握することにより、今後の都立高校の在り方の検討に資する。

## 2 調査方法

### (1) 調査対象

平成20年3月に都立高校を卒業した生徒の就職実績がある企業 1,567社

### (2) 調査対象企業の抽出方法

関係都立高校(※)から、平成20年3月卒業生の就職実績がある企業について報告を受け、報告のあった全企業に対して調査票を送付した。

(※) 全日制課程の専門高校(農業科・工業科・商業科)、総合学科高校及び普通科高校

### (3) 調査方法

郵送による配布・回収方式

## 3 調査実施状況

### (1) 調査実施期間

平成23年7月15日～8月12日

### (2) 調査票回収数

885票 回収率：56.5%

## 4 本調査の見方

(1) 集計は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答率を合計しても100%にはならず、1%の範囲で増減することがある。

(2) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。

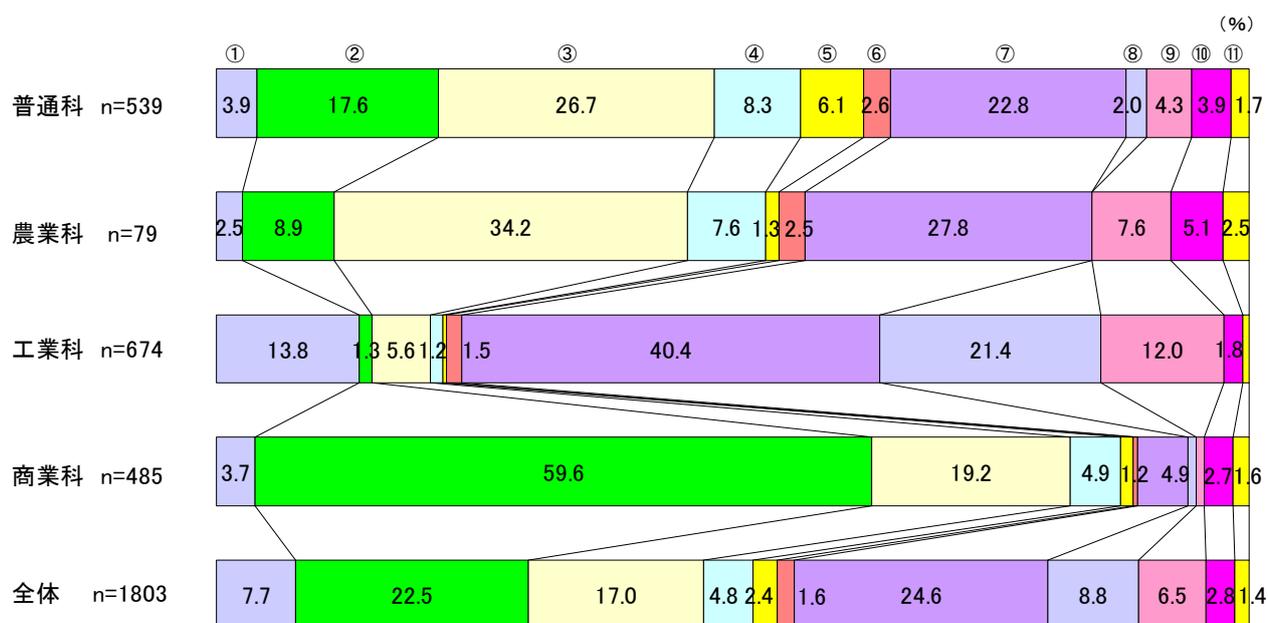
(3) 図表からは、無回答を除いている場合がある。

## 第2章 調査結果の分析

### 1 学科別の採用職種について

#### 1-1 学科別の採用職種

問 どのような職種で採用しましたか。(出身学科別)



- ① 専門技術者(開発技術者、情報処理技術者等)
- ② 事務従事者(受付、経理、一般事務等)
- ③ 販売従事者(セールスマン、販売員等)
- ④ サービス業務(理美容、飲食関係等)
- ⑤ 介護・保健医療関係業務(介護士、准看護師等)
- ⑥ 保安業務(警備員等)
- ⑦ 製造業務(機械、印刷・製本、食品製造等)
- ⑧ 保守・点検業務(電気工事、メンテナンス等)
- ⑨ 建設業務(大工・配管工・運搬労務等)
- ⑩ 運輸、通信業務(電車・自動車運転手、バスガイド等)
- ⑪ その他

※「全体」には、総合学科を含む。

※構成比1.0%未満の数値は省略

一採用された職種については、各学科とも学科ごとの専門性をある程度反映している一

どのような職種で採用したかについて、全体では「製造業務」「事務従事者」「販売従事者」がそれぞれ24.6%、22.5%、17.0%と高い割合を占めている。

学科別に見ると、農業科では「販売従事者」「製造業務」がそれぞれ34.2%、27.8%、工業科では「製造業務」「保守・点検業務」がそれぞれ40.4%、21.4%、商業科では「事務従事者」「販売従事者」がそれぞれ59.6%、19.2%と高い割合を占めており、いずれも学科ごとの専門性をある程度反映している。

一方、普通科では、「販売従事者」「製造業務」「事務従事者」がそれぞれ26.7%、22.8%、17.6%となっており、各専門学科において割合の高い職種に、幅広く採用されている。

## 2 在職の有無及び退職の時期・理由について

### 2-1 在職の有無及び退職の時期

問 平成23年4月1日現在、在職していますか。退職した方がいる場合は、退職時期をご回答ください。

①	②	③	④	⑤
1年目に退職	2年目に退職	3年目に退職	3年以内に退職しているが 退職時期不明	在職している



※「全体」には、総合学科を含む。

—就職後3年以内に退職した生徒の割合は、全体で30.8%であり、商業科卒業生（26.6%）及び工業科卒業生（28.8%）については、普通科卒業生（35.9%）より1割近く低い—

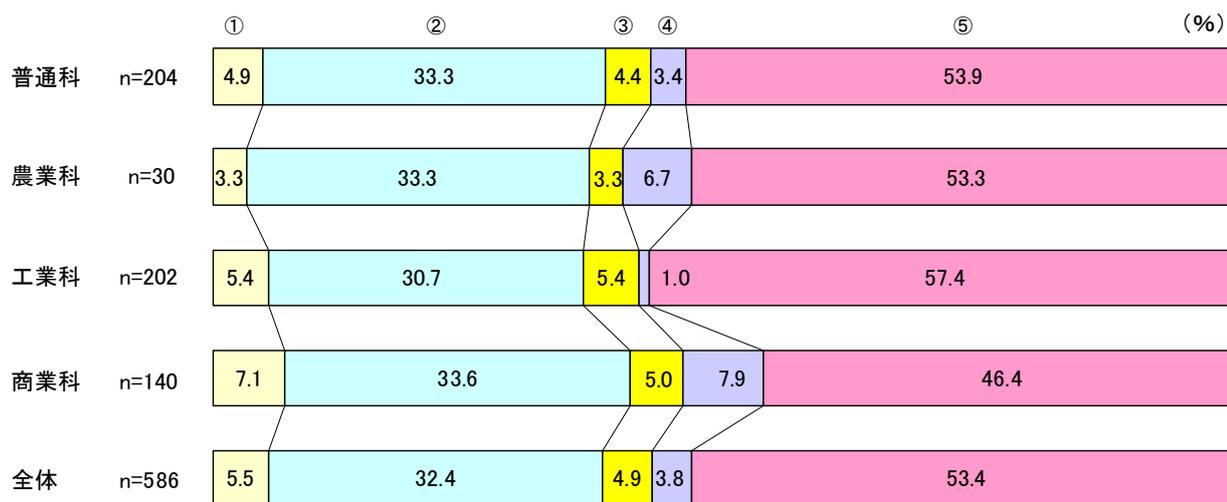
平成20年3月に都立高校を卒業し、就職した生徒のうち、就職後3年以内に退職した生徒の割合は、全体で30.8%である。そのうち、「1年目に退職」した生徒は、約半数の15.4%であり、年数の経過とともに退職する生徒の割合は低下する傾向にある（「2年目に退職」8.1%、「3年目に退職」6.2%）。

学科別に見ると、普通科卒業生の3年以内の退職割合（35.9%）に比べて、専門学科卒業生の退職割合は低くなっており、特に、商業科卒業生（26.6%）及び工業科卒業生（28.8%）については、普通科卒業生より1割近く低くなっている。

## 2-2 退職の理由

問 退職した方がいる場合、退職の理由をご回答ください。

①	②	③	④	⑤
同職種に転職	異職種に転職	進学	結婚・出産	不明



※「全体」には、総合学科を含む。

—退職の理由については、各学科とも約半数が「不明」、約3割が「異職種に転職」と回答している—

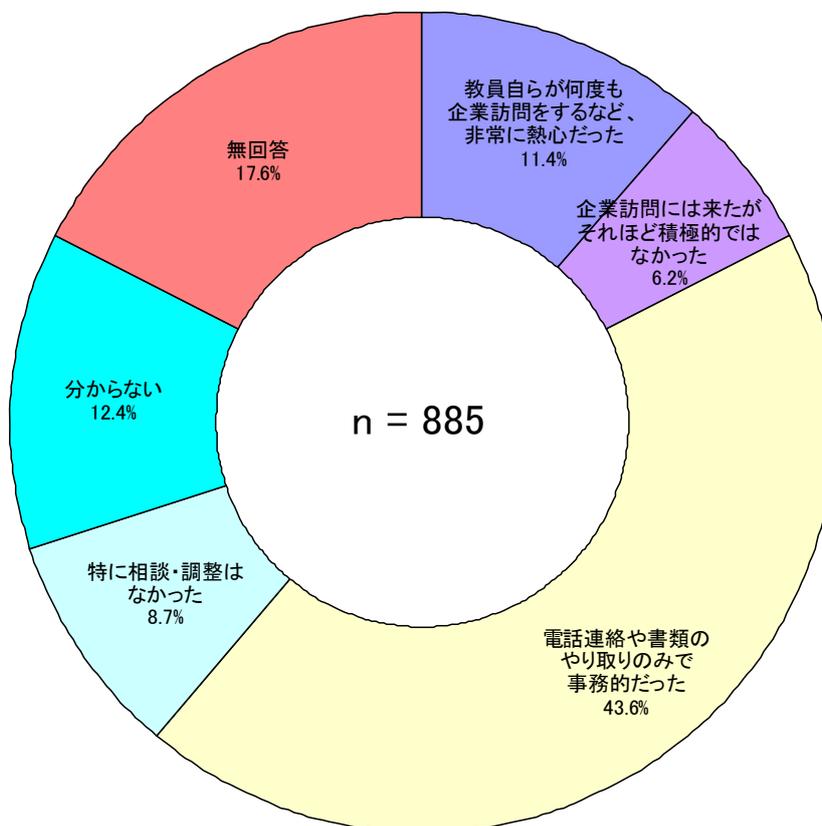
退職の理由については、各学科とも約半数が「不明」と回答しており、退職の理由までは把握をしていない企業が多い。

「不明」以外の回答では、各学科とも「異職種に転職」が約3割と大半を占めている。また、農業科及び商業科では「結婚・出産」がそれぞれ6.7%、7.9%と比較的多いのに対し、工業科では1.0%と少なくなっている。

### 3 就職に関する教員の関わり方について

#### 3-1 就職に関する教員の関わり方

問 生徒が就職する際に、生徒の在籍していた学校の教員が、貴社と生徒の間に立ち、連絡・調整（コーディネート）をしていましたか。



—就職に関する教員の関わり方について、「教員自らが何度も企業に訪問をするなど、非常に熱心だった」と回答した企業は、全体の約1割—

教員が企業と生徒の間に立ち、連絡・調整（コーディネート）をしていたかについて、「電話連絡や書類のやり取りのみで事務的だった」が43.6%と最も多かった。一方で、「教員自らが何度も企業に訪問をするなど、非常に熱心だった」は11.4%となっている。

## 4 今後の高校卒業生の採用予定について

### 4-1 今後の高校卒業生の採用予定

問 今後、高校卒業生を採用する予定はありますか。

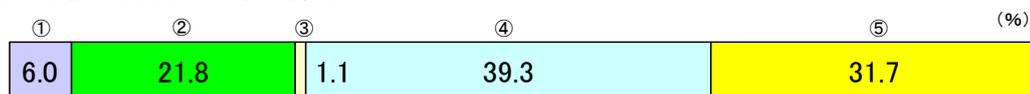
(1) 採用を検討するにあたり、出身学科を考慮するか

- ・採用するにあたり、出身学科はこだわらない・・・463 (52.3%) ①
- ・出身学科によって、採用を検討する・・・413 (46.7%) ②
- ・無回答・・・9 (1.0%)

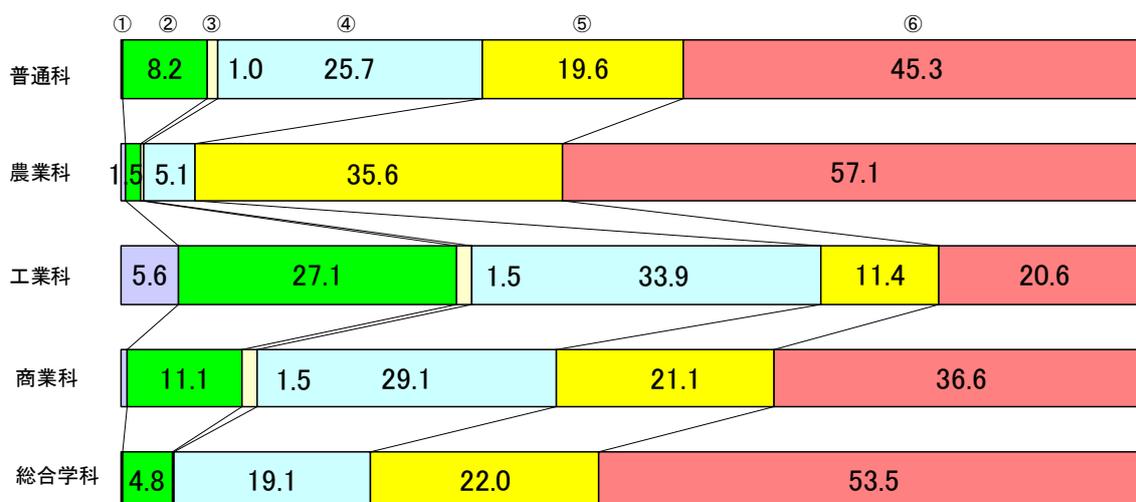
(2) 出身学科別の採用予定

①	②	③	④	⑤	⑥
採用人数を増やしたい	現状程度の人数を採用したい	採用人数を減らしたい	必要があれば採用したい	採用予定はない	無回答

① 採用するにあたり、出身学科にはこだわらない n=463



② 出身学科によって、採用を検討(学科別に回答) n=413



※構成比1.0%未満の数値は省略

—今後の高校卒業生の採用予定について、「採用するにあたり、出身学科にはこだわらない」と回答した企業は約半数（52.3%）である—

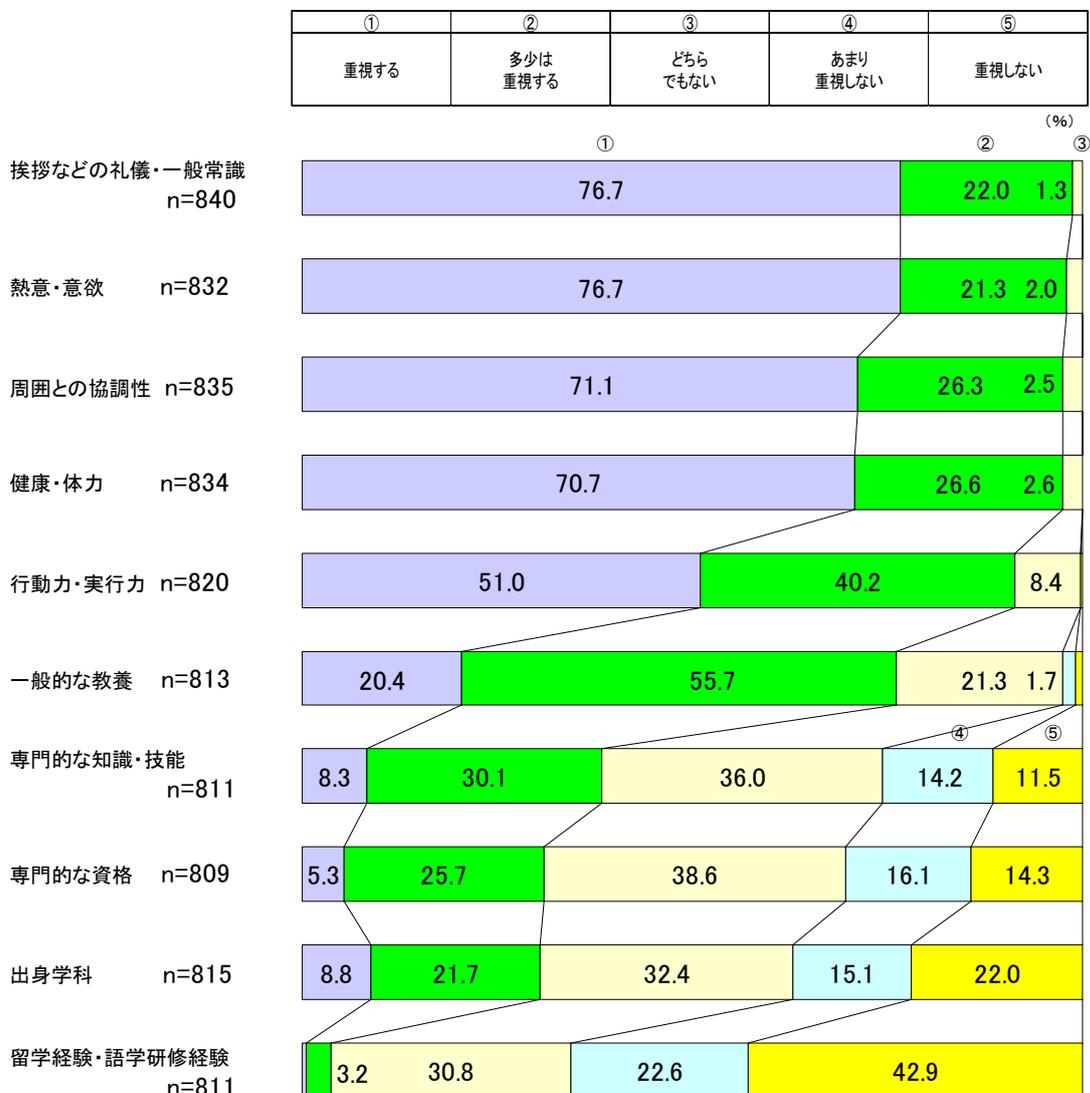
今後の高校卒業生の採用予定について、「採用するにあたり、出身学科にはこだわらない」と回答した企業は全体の約半数（52.3%）であり、そのうち「採用を増やしたい」が6.0%、「現状程度採用したい」が21.8%と、3割近くが現状又はそれ以上の採用を予定している。

また、出身学科によって採用を検討する企業について、「採用を増やしたい」又は「現状程度採用したい」と回答した企業の合計を学科別に見ると、工業科が32.7%と、他の学科を大きく上回っている。

## 5 高校卒業就職希望者の採用にあたり重視することについて

### 5-1 高校卒業就職希望者の採用にあたり重視すること

問 高校卒業の就職希望者を採用するにあたり、次の各項目をどの程度重視しますか。



※構成比1.0%未満の数値は省略

※無回答を除く

—高校卒業就職希望者の採用にあたり、「専門的な知識・技能」「専門的な資格」「出身学科」を「重視する」又は「多少は重視する」企業は、3割から4割程度—

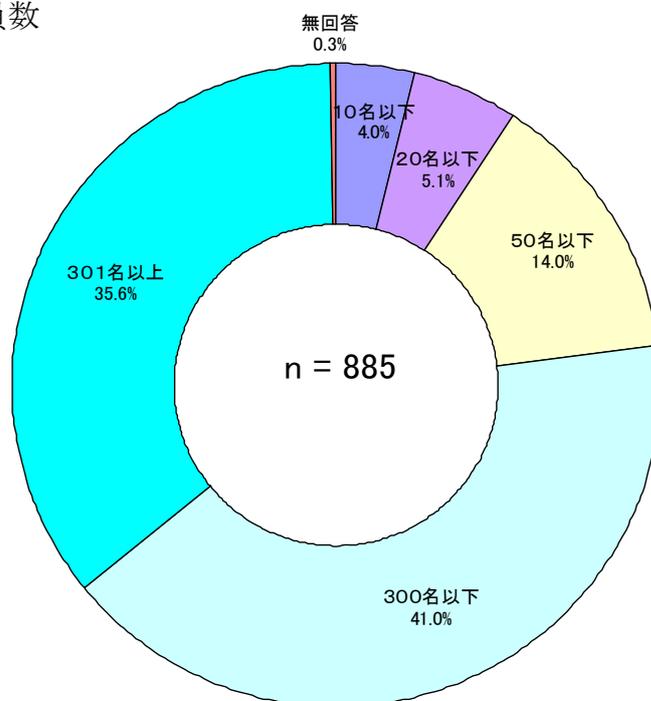
高校卒業就職希望者の採用にあたり重視することについて、「挨拶などの礼儀・一般常識」「熱意・意欲」「周囲との協調性」「健康・体力」「行動力・実行力」は、9割以上が「重視する」又は「多少は重視する」と回答している。一方、「専門的な知識・技能」「専門的な資格」「出身学科」に関して、「重視する」又は「多少は重視する」と回答した企業は、それぞれ38.4%、31.0%、30.5%と、3割から4割程度となっている。

## 6 回答企業の属性

### 6-1 従業員数及び業種

問 従業員数及び業種をご回答ください。

#### (1) 従業員数



#### (2) 業種

